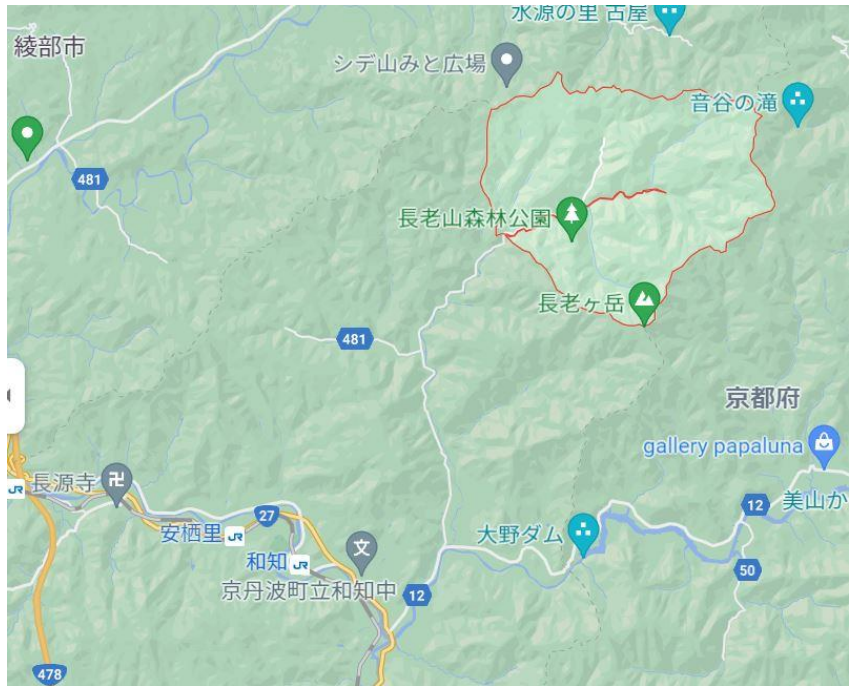


仏主

仏住とも書く。上和知の一番奥、周囲を長老ヶ岳はじめ 700～800mの山岳に囲まれ、その麓のわずかな平坦地に位置する。東は仏主峠、東北は洞峠で北桑田郡に接し、西は大岩峠を経て何鹿郡に通じている。由良川の支流上和知川が源を発して西流する。川沿いに府道 51 号（舞鶴和知線）が走る。



仏主村は、江戸期～明治 22 年の村。明治 4 年園部県を経て京都府に所属。同 22 年上和知村の大字となる。仏主は、明治 22 年～現在の大字名。はじめ上和知村、昭和 30 年からは和知町の大字、平成 17 年からは京丹波町の大字。

小字一覧 アゾ 溝ノ脇(みぞのわき) 堂ノ谷(どうのたに) 川原(かわら) 谷口(たにぐち) 岩ヶ尾(いわがお) 田尻(たじり)

▼仏主の人口・世帯数（令和 4 年 1 月末現在）

行政区	【世帯数】				【男】		【女】		【計】				
	日本人	外国人	複数	計	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計			
3015 仏主	10	0	0	10	6	0	6	11	0	11	17	0	17

▼長老ヶ岳（標高 916.9m）

長老ヶ岳は、ホンシャクナゲの自生地、ヒメユリ・イワカガミの群落、また陸産貝類が多く生息し、動植物の宝庫といわれる。

京都府は全般に山は低く、1000mを越す山はない。めずらしく当山は 900m超えの「高山」の一つで、府下では 12 位の高さがある。

登山路は、仏主から大松谷を通して仏主峠に登り、郡境沿いに尾根筋を通じる道、上乙見から乙見谷を通じる道、美山町三笠から川谷を通じて仏主峠に達する道がある。山頂は草原状で眺望がよく、丹波山地の重畳たる山並みを一望できる。下から見えないということは上からも見えないので、下界の眺望はないようである。

昭和 44 年に美山町芦生に府立芦生青少年山の家、同 53 年には和知町上栗野に府立和知青少年山の家が建設され、登山者も増加し登山路の整備もされた。